

2022 SUPER FORMULA Round.9 / Round.10

All Photographs by Noriaki MITSUHASHI, N-RAK PHOTO AGENCY

SUZUKA



全日本スーパーフォーミュラ選手権 2022 第9戦 / 第10戦
2022年10月28日(金)～30日(日) 鈴鹿サーキット(三重県)

金曜フリー走行

10月28日(金) 天候: 晴れ 路面: ドライ

4月に富士スピードウェイで開幕した2022年の全日本スーパーフォーミュラ選手権。docomo business ROOKIEと大嶋和也にとっては決して満足がいくシーズンではなかったが、そんな一年の締めくくりとなる最終大会がやってきた。10月28日(金)～30日(日)に開催される第21回JAF鈴鹿グランプリがその舞台だ。この週末も第9戦/第10戦と2レースが開催される週末となった。

ここまで予選Q1突破、そしてポイント獲得を目指して戦ってきた大嶋だが、なかなか思うような感触を得られないまま最終大会を迎えることになってしまった。しかし、きっちりとシーズンを締めくくるためにもこの鈴鹿で目標を果たしたい。10月28日(金)午後1時30分からスタートした専有走行で、docomo business ROOKIE

と大嶋は翌日の第9戦に向けセットアップの確認を始めていった。

この時期らしからぬ暑さのなかスタートした専有走行で、大嶋は3～5周ほどのランを重ねながら、細かくピットインしつつセットアップの変更を行っていき、「走り出しはバランスがあまり良くなって、タイムも上がらなかったのですが、決められていたテストを行っていきました」とセッション前半は好ましいフィーリングではなかったものの、その後エンジニアと相談を重ねながら改良を進めていった結果、感触は少しずつ改善していく。

コンディションが上がっていった終盤、大嶋はニュータイヤを装着しアタックシミュレーションを行っていく。最終ラップとなる23周目、1分38秒697というベストタイムをマークし、チェッカーを受けた。

結果としては20番手だが、「アタック自体も完璧なものではなかったことでもあります、他とのタイム差がなく、もう少しのところでできています。やっと“攻められる”クルマになって

きたと思います」と大嶋の感触はポジティブなもの。翌日の第9戦の予選で「攻めるだけ攻めてみて、どうなるかですね」と大嶋は翌日へ前向きな手ごたえを得ていた様子だった。



第9戦 公式予選

10月29日(土) 天候:晴れ 路面:ドライ



一夜明け、迎えた10月29日(土)は、午前9時15分から第9戦の公式予選がスタートした。大嶋は午前9時30分から行われたB組からQ1突破に向けて臨んだが、この日も天候は快晴であるものの前日とは風向きが変わり、追い風のなかで行われた。

セッション開始とともに一度コースインした大嶋は、一度ピットに戻りニュータイヤに交換。残り5分を切ってからふたたびコースインしていく。大嶋はライバルたちと同様、アウトラップの後1周をウォームアップに費やし、4周目に集中してアタックをかけていった。

チェッカーを受けた大嶋は、1分38秒157というタイムをマークする。ただ風向きやQ1 A組を経てコンディションは大きく向上しており、上位陣は1分36秒台に突入していた。結果は11番手で、目標としていたQ1突破は今回も叶わなかった。「ポジティブなフィーリングもありましたし、どこがダメというのもないのですが……。多少のミスはあったもののほんのわずかです。でもタイムが伸びない。困った状況ですね」と大嶋。「決勝はバランスを取って少しでも追い上げられるようにしたいです」とレースに向け調整を進めていった。

第9戦 決勝レース

10月29日(土) 天候:晴れ 路面:ドライ

予選後から4時間30分のインターバルで迎えた第9戦の決勝レース。鈴鹿サーキットには豊田章男チームオーナーも駆けつけ、今季最後のレースウィークに臨んでいる大嶋と docomo business ROOKIE を励ました。

午前に続き晴天に恵まれ、気温19度/路面温度30度というコンディションのなか迎えた午後2時30分からの決勝では、そんな期待に応えるかのように大嶋は好スタートを決めると、1周目に1ポジションアップ。さらに2周目には#50 松下信治をかわし、さらに4周目には#50 松下にはかわされるも、#36 ジュリアーノ・アレジをかわすなど、後方集団ながら

激しいバトルを展開する。今季これまでは至らなかったこともあり、「ひさびさにみんなと戦うことができました」と大嶋は好ペースとともにライバルたちとバトルを展開していった。

8周目には#18 国本雄資をかわし18番手に浮上するが、10周目を迎えると上位陣のなかでもミニマムでのピットインを行う陣営が現れはじめ、大嶋の順位も少しずつ浮上していく。ただ、本来前走車がいるとペースは上がらないものだが、レースでの大嶋は前が開けはじめると、ややペースが苦しくなっていた。

今回のレースで docomo business ROOKIE はもともと中盤以降にピットインを行う作戦を予定しており、15周目に大嶋はピットに向かう。ただ、早めにピットインを行った陣営がニュータイヤでタイムを稼ぎ出すアンダーカットを果たしており、ピットアウトした後はポジションダウン。大嶋はふたたび最後尾から追い上げるようになってしまった。

しかしその後も、大嶋のペースはライバルたちに比べても悪いものではなく、20周目には#36 アレジをオーバーテイク。さらに終盤の30周目には#18 国本をかわし19番手に。夕焼けが空を染めるなか、大嶋はそのま



まきっちりと走り切り、19位でフィニッシュすることになった。

終始ドライコンディションで、リタイアした車両は1台もなく、結果としては19位と悔しいものではあった。また作戦の面でもパーフェクトとはいいがたかった。レース後、大嶋が履いていたタイヤはまだグリップを残しており、レースにタラレバは禁物ではあるものの、もう少し早くピットインしておいたらもう少し順位を上げられたかもしれない。

とはいえ、大嶋が待ち望んだ集団に追いつき、バトルをすることができたのは何よりの収穫となった。

あとは課題となっている予選での向

上を果たせば、ポイント圏内を争うこともできるかもしれない。

docomo business ROOKIE と大嶋はいよいよ今シーズン最後のレースとなる10月30日(日)の第10戦できっちりとシーズンを締めくくべく、さらなるセットアップ改良を施すために作業を進めていった。



第10戦 公式予選

10月30日(日) 天候：晴れ 路面：ドライ



決勝レースで戦える手ごたえをしっ
かり得た第9戦から一夜明けた10月
30日(日、いよいよ2022年のスー
パーフォーミュラの最終レースとなる
第10戦の予選・決勝日を迎えた。こ
の日も鈴鹿サーキットは快晴で、前日
よりも多くのファンが訪れるなか、午
前9時05分から第10戦の公式予選
がスタートした。

この日はA組からQ1に出走した大
嶋は、今季最後のレースということも
あり、「今までとは違うトライ」を施
したセットアップを試しQ1に出走し
た。もちろん専有走行がないことから
確認する手立てはないが、2023年に

降に繋がる挑戦として、1周のアウト
ラップの後一度ピットイン。アタック
に入っていた。

「欲しかった感触はあった」という大
嶋だったが、気合を込めて展開した
アタックで記録されたタイムは、1分
38秒525というもの。結果はA組
の11番手だ。1分37秒台には入り
たかったところだけに、大嶋にとつ
てもチームにとつても悔しさがあふれる
結果となってしまった。

後半戦から苦しみ抜いた今季を象徴
するかのよう、大嶋は第10戦の
決勝レースを最後尾の21番手からス
タートすることになった。

第10戦 決勝レース

10月30日(日) 天候：晴れ 路面：ドライ

午後2時30分から行われた今季最
後のレースとなった第10戦の決勝。
気温21度/路面温度31度というコ
ンディションで、前日に比べて風はな
いものの、この3日間そうであったよ
うに快晴に恵まれるなか、いよいよ決
勝の火ぶたが切って落とされた。

大嶋は1周目、最後尾からスタート
を切るが、直後の1コーナーで#12
福住仁嶺がコースアウト。バリアにク
ラッシュしたことから、レースはいき
なりセーフティカーランとなる。3周
目にはリスタートを迎えるが、その直
前のセーフティカーラン中に#53 佐
藤蓮がスピンを喫するなど、今季最後
のレースはやや荒れ模様となり、大嶋

はこれに乗じて2ポジションアップ。
さらに6周目、#39 阪口晴南をかわ
し18番手につけていった。

前日の第9戦では、ややピットス
トップを遅らせたものの、終盤までタ
イヤのグリップがしっかりと残ってい
たことから、今回大嶋は早めのピット
インを行う。10周目、ピットウイ
ンドウがオープンとともに作業を行い、
コースに復帰していった。

ただその2周後、序盤大嶋の前
を走っていた#50 松下信治が日立
Astemo シケインで#36 ジュリアー
ノ・アレジとのバトルのなか接触。ス
ポンジバリアにクラッシュしてしま
い、レースはふたたびセーフティカー
ランとなった。

スーパーフォーミュラの場合、
SUPER GTとは異なりセーフティ
カーラン中のピットインが可能。ここ
でピット作業を行ったライバルも多
く、アドバンテージを得ることになる。
大嶋もこのタイミングでのピットイン
であれば順位が上がった可能性もある
が、こればかりは時の運だ。

18周目のリスタートとともに大嶋
はふたたびレースを進め、18周目
には#36 アレジをかわしていく。さ
らに前方には、セーフティカーランの
タイミングでピットインし順位を上げ
ていた#39 阪口がふたたび迫ってきた。



21周目、大嶋はこれをオーバーテ
イクすることに成功するが、翌周には
オーバーテイクシステムを使い果た
すなど、激しいレースを展開する。
オーバーテイクシステムを使うタイ
ミングで順位が入り替わる展開
となったが、レースではしっかりとバ
トルこそできるものの、一台をかわ
し、さらにその前を狙うような速さは
今回の大嶋には足りなかった。

終盤には#39 阪口と大嶋の順位
はそのままとなり、最終的に15位
でチェッカーを受けることになった。
きっちりとチェッカーフラッグを受
けることはできたものの、やはり今回
もポイントには届かなかった。

これで2022年の全日本スー
パーフォーミュラ選手権はすべてのレ
ースを終えた。大嶋和也と docomo
business ROOKIE は、今季参戦する
全チーム/ドライバーで唯一無得点と
いう悔しい結果に終わってしまった。

しかし、悔しさを晴らすことができ
るのは自分たちしかない。2023年、
スーパーフォーミュラは空力など大き
く変わる可能性がある。すべてのド
ライバーの戦力図が“リセット”され
る可能性があるということだ。新たな
シーズンへ向け、docomo business
ROOKIE は2023年に向けて万全の
体制を作りあげべく、すでに動きは
じめている。



第9戦／第10戦 ドライバー／監督コメント



DRIVER

大嶋 和也

Kazuya OSHIMA

「第9戦は序盤のペースも良く、ひさびさに追いつけることができて良かったです。ただ前が開けてからはなかなかペースを上げられなかったですね。第10戦については違うトライをして、それがうまくいってくれればと思っていましたが、欲しかった感触はあったものの、タイムに繋がらなかったです。決勝に向けては前日から取り組んだ変更が良くなるのではないかと思ったものの、低速コーナーで離されてしまって、抜けなかったです。今日もレースではバトルができたものの、あとコンマ何秒かが足りなかったです。今年はこのまま終わるわけにはいかないと一生懸命いろんなことを取り組みましたが、思うように繋がらない最悪のシーズンでした。次のチャンスもあると思うので、このまま終わることがないように、引き続き頑張っていきたいと思います」



DIRECTOR

片岡 龍也

Tatsuya KATAOKA

「今季は体制も新たに開幕前から手ごたえを感じていたもので、良いレースができと思っていた。序盤戦は惜しい内容のレースが続いていましたが、シーズン中盤からは苦しくなり、この最終戦で良い形で締めくくりたかったのですが、予選からかなり苦戦する状況になってしまいました。レース内容を見ると、グリッドが前ならば戦えたかもしれません。しかしチームとしては年々スタッフも強化され、ピット作業の安定度など向上している面もあります。この先に繋がっていると思いますが、今季については少し時間が足りなかったのかもしれません。シーズンを通じて無得点で終わったのは悔しいですが、この悔しさを来季に繋げたいと思います。今週、そして今季一年間、docomo business ROOKIE に ご声援ありがとうございました」



全日本スーパーフォーミュラ選手権 第9戦／第10戦 リザルト

10月28日 フリー走行

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Time
1	65	大湯都史樹	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'37.487
2	38	坪井翔	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD 01F	1'37.829
3	4	S. フェネストラズ	KONDO RACING	TOYOTA/TRD 01F	1'37.966
4	37	宮田莉朋	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD 01F	1'38.015
5	20	平川亮	carenex TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD 01F	1'38.029
6	19	関口雄飛	carenex TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD 01F	1'38.045
7	5	牧野任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'38.118
8	12	福住仁嶺	ThreeBond Drago CORSE	HONDA/M-TEC HR-417E	1'38.197
9	7	小林可夢偉	KCMG	TOYOTA/TRD 01F	1'38.217
10	6	大津弘樹	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'38.300
11	15	笹原右京	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	1'38.303
12	18	国本雄資	KCMG	TOYOTA/TRD 01F	1'38.303
13	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'38.392
14	3	山下健太	KONDO RACING	TOYOTA/TRD 01F	1'38.460
15	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD 01F	1'38.485
16	1	野尻智紀	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	1'38.496
17	53	佐藤蓮	TEAM GOH	HONDA/M-TEC HR-417E	1'38.520
18	55	三宅淳詞	TEAM GOH	HONDA/M-TEC HR-417E	1'38.644
19	36	G. アレジ	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD 01F	1'38.674
20	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE	TOYOTA/TRD 01F	1'38.697
21	50	松下信治	B-Max Racing Team	HONDA/M-TEC HR-417E	1'38.816

10月29日 第9戦公式予選

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Time
1	1	野尻智紀	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.020
2	37	宮田莉朋	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD 01F	1'36.262
3	65	大湯都史樹	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.336
4	38	坪井翔	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD 01F	1'36.356
5	15	笹原右京	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.452
6	5	牧野任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.490
7	19	関口雄飛	carenex TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD 01F	1'36.549
8	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.704
9	53	佐藤蓮	TEAM GOH	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.843
10	12	福住仁嶺	ThreeBond Drago CORSE	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.903
11	20	平川亮	carenex TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD 01F	1'36.982
12	18	国本雄資	KCMG	TOYOTA/TRD 01F	1'37.163
13	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD 01F	1'37.551
14	55	三宅淳詞	TEAM GOH	HONDA/M-TEC HR-417E	1'37.302
15	50	松下信治	B-Max Racing Team	HONDA/M-TEC HR-417E	1'37.593
16	6	大津弘樹	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'37.367
17	4	S. フェネストラズ	KONDO RACING	TOYOTA/TRD 01F	1'37.650
18	3	山下健太	KONDO RACING	TOYOTA/TRD 01F	1'37.554
19	36	G. アレジ	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD 01F	1'37.887
20	7	小林可夢偉	KCMG	TOYOTA/TRD 01F	1'37.578
21	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE	TOYOTA/TRD 01F	1'38.157

10月29日 第9戦決勝

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Laps	Total Time	Gap
1	15	笹原右京	TEAM MUGEN BINGO SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	53'00.126	
2	1	野尻智紀	TEAM MUGEN MOTUL SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	53'12.715	12.589
3	53	佐藤蓮	Red Bull TEAM GOH G01 SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	53'14.338	14.212
4	65	大湯都史樹	TCS NAKAJIMA RACING SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	53'19.764	19.638
5	37	宮田莉朋	Kuo VANTELIN TOM'S SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	53'20.121	19.995
6	19	関口雄飛	carenex TEAM IMPUL SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	53'21.332	21.206
7	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M55 SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	53'23.277	23.151
8	38	坪井翔	P.MU/CERUMO・INGING SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	53'26.067	25.941
9	20	平川亮	carenex TEAM IMPUL SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	53'26.549	26.423
10	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO・INGING SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	53'27.757	27.631
11	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	53'29.661	29.535
12	55	三宅淳詞	TEAM GOH G01 SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	53'33.570	33.444
13	6	大津弘樹	DOCOMO DANDELION M6Y SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	53'35.769	35.643
14	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	53'42.369	42.243
15	12	福住仁嶺	ThreeBond Drago CORSE SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	53'44.611	44.485
16	4	S. フェネストラズ	REALIZE Corporation KONDO SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	53'44.977	44.851
17	50	松下信治	BYOUBUGAURA B-MAX SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	53'46.815	46.689
18	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	53'48.826	48.700
19	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	53'55.263	55.137
20	18	国本雄資	Kids com KCMG Elyse SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	53'57.907	57.781
21	36	G. アレジ	Kuo VANTELIN TOM'S SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	53'58.678	58.552

以上完走 (規定周回数 27Laps)

全日本スーパーフォーミュラ選手権 第10戦 リザルト

10月30日 第10戦公式予選

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Time
1	1	野尻智紀	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.003
2	37	宮田莉朋	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD 01F	1'36.043
3	6	大津弘樹	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.468
4	15	笹原右京	TEAM MUGEN	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.612
5	38	坪井翔	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD 01F	1'36.669
6	20	平川亮	carenex TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD 01F	1'36.688
7	4	S. フェネストラズ	KONDO RACING	TOYOTA/TRD 01F	1'36.735
8	55	三宅淳詞	TEAM GOH	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.738
9	65	大湯都史樹	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.746
10	5	牧野任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.789
11	36	G. アレジ	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	TOYOTA/TRD 01F	1'36.953
12	18	国本雄資	KCMG	TOYOTA/TRD 01F	1'37.255
13	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING	HONDA/M-TEC HR-417E	1'37.071
14	53	佐藤蓮	TEAM GOH	HONDA/M-TEC HR-417E	1'37.458
15	7	小林可夢偉	KCMG	TOYOTA/TRD 01F	1'37.216
16	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO・INGING	TOYOTA/TRD 01F	1'37.480
17	50	松下信治	B-Max Racing Team	HONDA/M-TEC HR-417E	1'37.248
18	12	福住仁嶺	ThreeBond Drago CORSE	HONDA/M-TEC HR-417E	1'37.626
19	3	山下健太	KONDO RACING	TOYOTA/TRD 01F	1'37.448
20	19	関口雄飛	carenex TEAM IMPUL	TOYOTA/TRD 01F	1'37.743
21	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE	TOYOTA/TRD 01F	1'38.525

10月30日 第10戦決勝

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Laps	Total Time Gap
1	1	野尻智紀	TEAM MUGEN MOTUL SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	1:01'20.630
2	6	大津弘樹	DOCOMO DANDELION M6Y SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	1:01'27.487 6.857
3	37	宮田莉朋	Kuo VANTELIN TOM'S SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	1:01'28.630 8.000
4	4	S. フェネストラズ	REALIZE Corporation KONDO SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	1:01'31.179 10.549
5	20	平川亮	carenex TEAM IMPUL SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	1:01'34.492 13.862
6	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	1:01'35.433 14.803
7	65	大湯都史樹	TCS NAKAJIMA RACING SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	1:01'39.337 18.707
8	55	三宅淳詞	TEAM GOH G01 SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	1:01'52.583 31.953
9	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	1:01'53.429 32.799
10	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	1:01'53.647 33.017
11	19	関口雄飛	carenex TEAM IMPUL SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	1:01'55.122 34.492
12	38	坪井翔	P.MU/CERUMO・INGING SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	1:02'00.363 39.733
13	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	1:02'01.294 40.664
14	39	阪口晴南	P.MU/CERUMO・INGING SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	1:02'01.484 40.854
15	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	1:02'02.484 41.854
16	15	笹原右京	TEAM MUGEN BINGO SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	1:02'03.105 42.475
17	36	G. アレジ	Kuo VANTELIN TOM'S SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	1:02'04.170 43.540
18	18	国本雄資	Kids com KCMG Elyse SF19	TOYOTA/TRD 01F	31	1:02'08.550 47.920
19	53	佐藤蓮	Red Bull TEAM GOH G01 SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	31	1:02'26.980 1'06.350
以上完走(規定周回数 27Laps)						
-	50	松下信治	BYOBUGAURA B-MAX SF19	HONDA/M-TEC HR-417E	11	21'42.564 20Laps
-	12	福住仁嶺	ThreeBond Drago CORSE SF19	HONDA/M-TEC HR-417E		

ROOKIE RACING

SUPER
FORMULA

ROOKIE Racing の活動は、多くの皆さまのご協力によって支えられています

**d docomo
business**

DENSO

PONOS

HAYASHI
TELEMPU

OGURA
CLUTCH

いつもさいしょ、アタラシイコト。
VITEC
Creative Power

SMBC

KINTO

NSK

vūtec

TAMIYA

asics

ENKEI



CISCO

インパイヤ自動車

ThreeBond